

坤櫓の展示、利活用等について

○基本的な方針

- ・福井城址の歴史的価値の理解を深めていただく
- ・「県民の城」となるよう機運醸成を図り、興味・関心がある人を増やす

○坤櫓の役割や求められる機能

- ・往時の姿を体感できる城郭施設
- ・城址の歴史拠点施設、体験学習施設
- ・小中学校の校外学習（令和6年度は17小中学校が活用）
- ・散策時の休憩施設、展望スペース
- ・県都の新たなシンボル、ランドマーク（福井駅から見える位置）

○内部展示 基本的な考え方

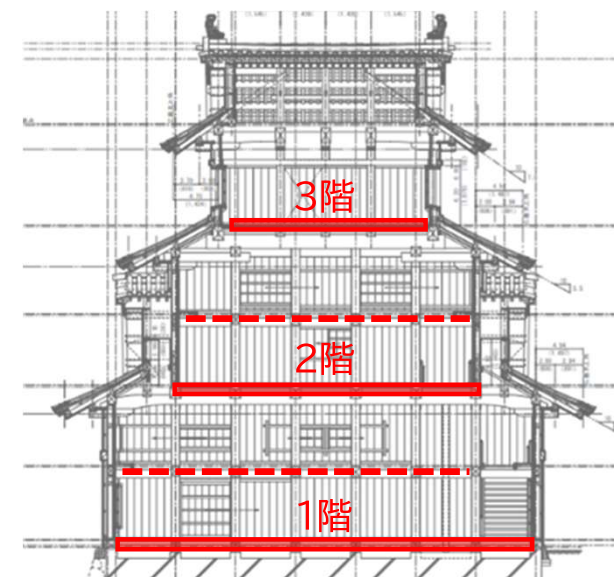
- ・1階～2階 往時の姿を体感、展示スペース等に活用
- ・3階 原則立入禁止（建築基準法に基づく）

展示内容の検討スケジュール

- ・令和6年度 基本的な方針や考え方の整理。展示の素案作成
- ・令和7年度 展示内容の検討（坤櫓の管理・運営等の検討着手）
- ・令和8年度 展示の基本設計
- ・令和9年度 展示の実施設計（管理・運営等の決定）
- ・令和10年度 展示等工事の発注（令和11年度 供用開始予定）



坤櫓の室内イメージ



坤櫓 室内立面図

(1) 櫓内部の展示内容(案)

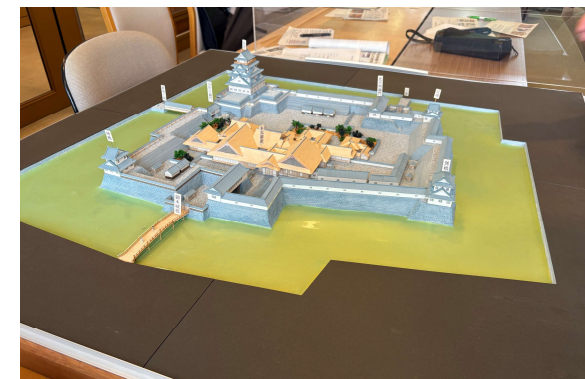
本委員会における意見、城址ガイドや観光協会、大学生等からの提案、他城事例を踏まえ、展示内容を検討。学芸員等からの意見聴取を今後実施

1階「本物を見せる、往時の姿を体感」

- (1) 柱や梁などの構造そのものを見せる
- (2) 屋根瓦など見えない部分の構造展示
- (3) 福井城の全体像や歴史、城下絵図、櫓の役割、石垣の価値等
- (4) 埋蔵文化財発掘調査の写真、出土品の展示

2階「楽しみながら学ぶ、エンタメ」

- (5) 往時と復元櫓の違いの説明(階数、瓦材料、壁材料等)
- (6) 復元工事の経過写真
- (7) テレビ放送「池の水ぜんぶ抜く」の様子、お堀内の魚類等の状況
- (8) ジオラマ模型、映像展示、往時を再現した復元VRアプリ
- (9) 甲冑、武器、往時の道具等の展示、フォトスポット設置



ジオラマ模型イメージ
(FUT福井城郭研究所蔵)



出土品の展示イメージ



屋根瓦等の構造展示イメージ



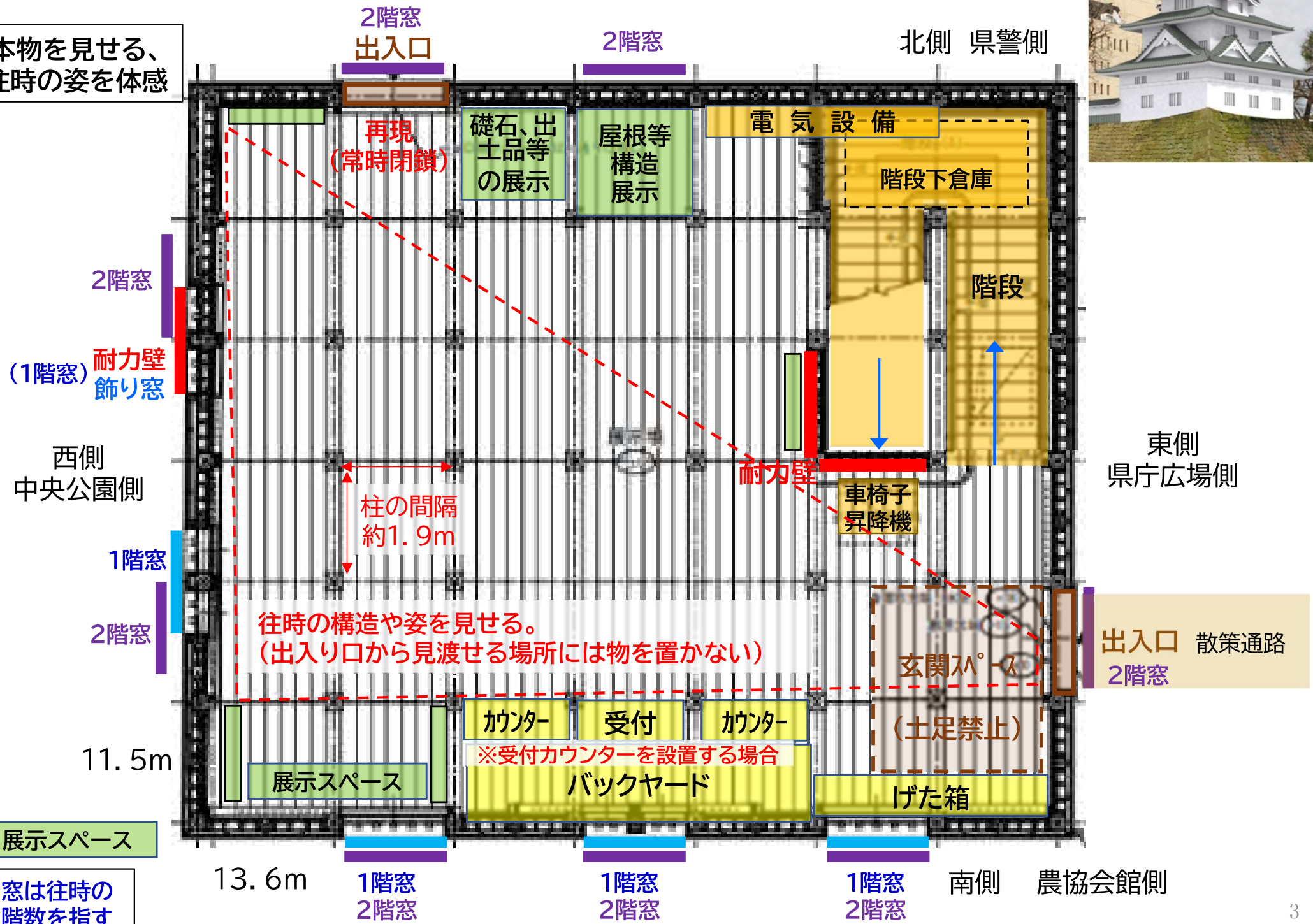
パネル展示イメージ



映像展示イメージ

坤櫓 1 階 配置 (案)

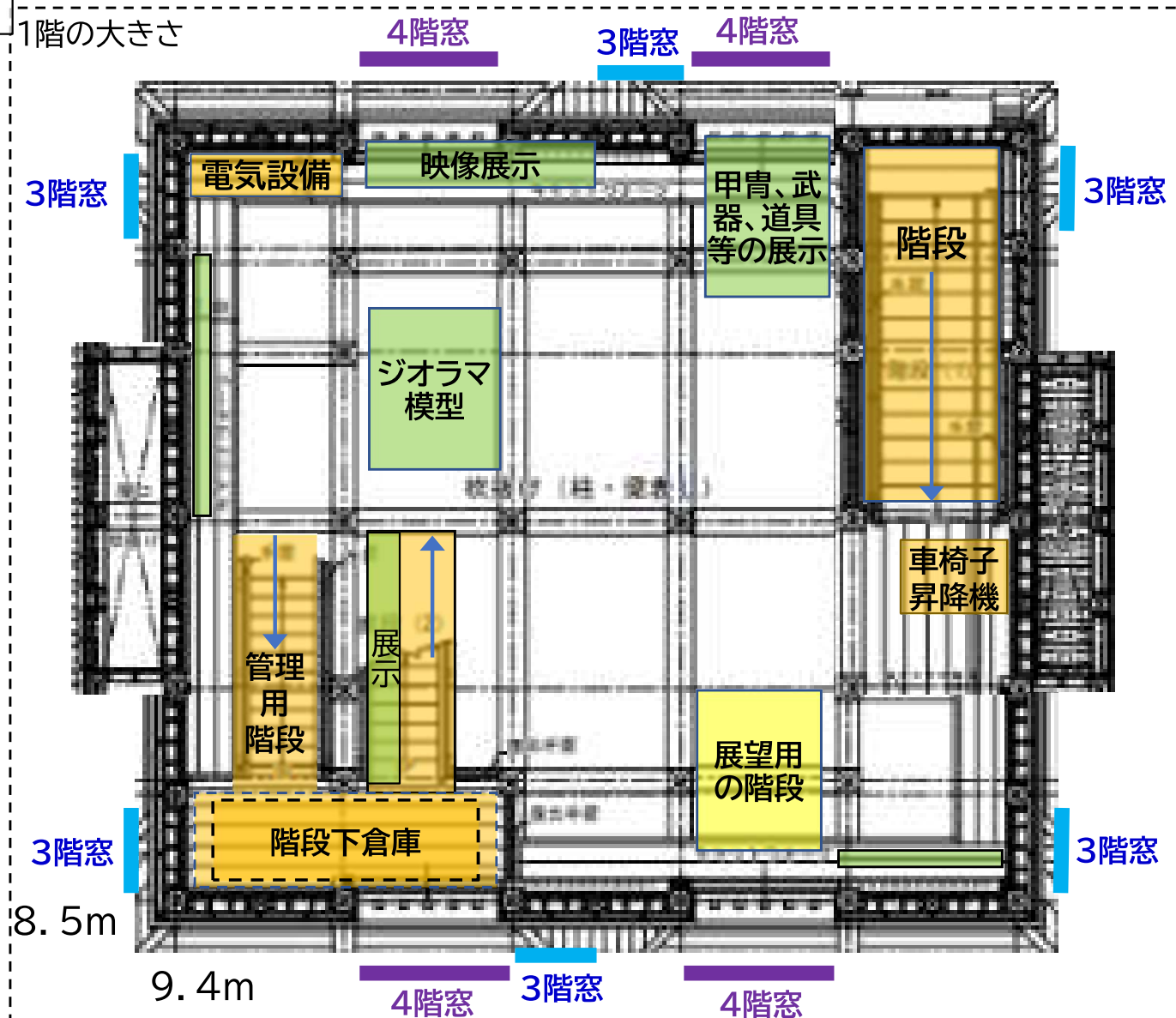
本物を見せる、
往時の姿を体感



坤櫓 2 階 (往時 3 階) 配置 (案)

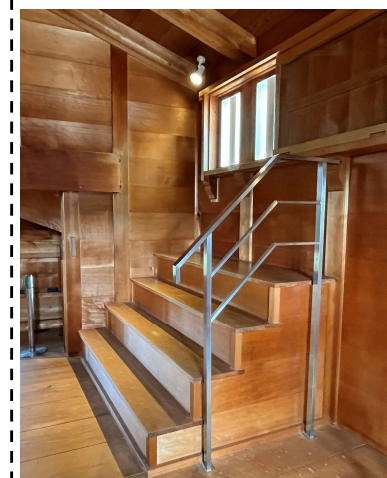
楽しながら学ぶ、
エンタメ

北側 県警側



西側
中央公園側

東側
県庁広場側



展望用の階段
イメージ

展示スペース

窓は往時の
階数を指す

往時の4階からの景色を見よう

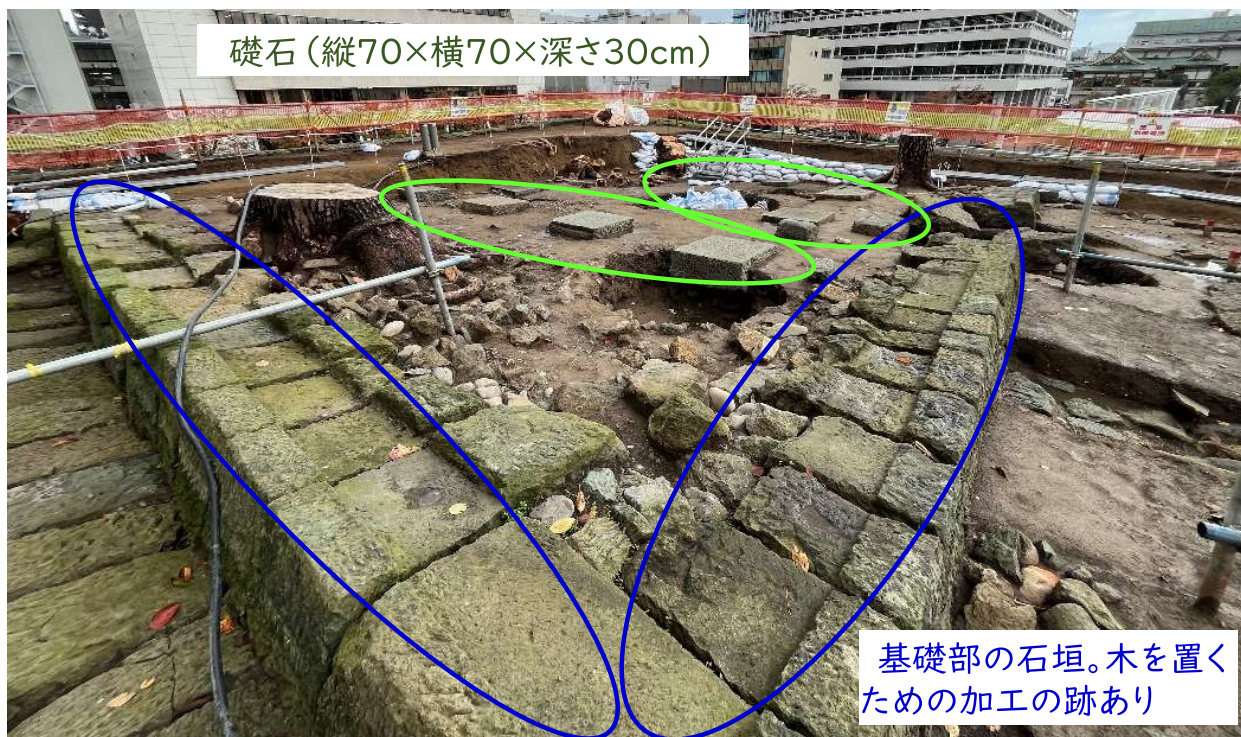
南側 農協会館側

(2) 出土する礎石等の展示(案)

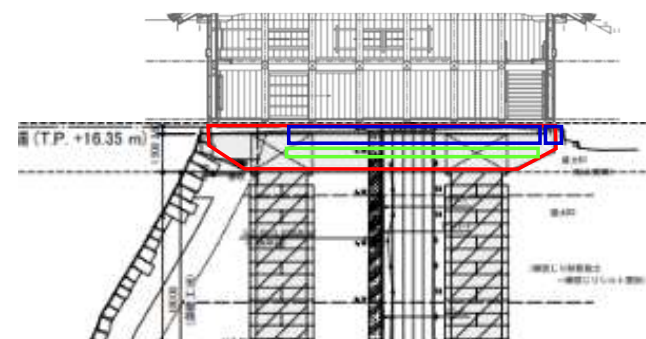
- ・坤櫓台(表層部)や土堀部の発掘調査において、往時の坤櫓の礎石や基礎部の石垣等が確認
- ・歴史的価値が高い礎石等を保存できないか検討したものの、坤櫓の復元にあたっては、現在の建築基準法に適合させた杭基礎工事が必要であり、やむを得ず、礎石等を撤去する必要
- ・礎石の大きさ、基礎部の石垣形状や加工跡等を間近で見れるよう、展示する。

(展示案)

- ・基礎部の石垣(現状の形のまま) ⇒ 県警前芝生広場などの屋外
- ・坤櫓の礎石(1つ)、土堀部の基礎石等 ⇒ 坤櫓室内



令和7年度 坤櫓台発掘調査



礎石や基礎部石垣と工事の位置関係



令和7年度 土堀部発掘調査

(3) 坤櫓の管理・運営等の検討

①入場料の取り扱いの検討

検討中の櫓の展示内容、室内スタッフの有無、施設の維持管理や展示の継続的な更新等を踏まえ、入場料の取扱い（無料or有料、徴収場所）を検討していく。

	城郭施設	管理者	城郭施設	入場料	徴収場所	スタッフ	内部利用方法
県内	福井城	福井県	坤櫓				3階建て、3階は立入禁止
			山里口御門	無料	－	なし	2階建て、1階は通路
	丸岡城	坂井市	現存天守	大人450円、小人150円	屋外受付	常駐	3階建て
	越前大野城	大野市	天守	大人400円、小人：無料	天守1階	常駐	4階建て
県外	金沢城	石川県	菱櫓、五十間長屋	大人320円、小人100円	櫓1階	常駐	3階建て、3階は立入禁止
			河北門	無料	－	常駐	2階建て
	駿府城	静岡市	坤櫓	大人100円、小人50円	園内	常駐	3階建て、2・3階は立入禁止
			巽櫓	大人200円、小人50円	園内	常駐	3階建て、3階は立入禁止
	宇都宮城	宇都宮市	富士見櫓	無料	－	常駐	2階建て、2階は立入禁止
	新発田城	新発田市	辰巳櫓	無料	－	常駐	2階建て

目標来場者数についても、入場料の取扱い等を踏まえ、今後検討していく。

(参考) 近隣・同種施設の来場者数

○山里口御門来場者数 R5年度 4.6万人 ⇒ R6年度 5.3万人 ⇒ R7年度見込み 5.0万人(1日約140人)
県内10%、県外85%、外国人5% (令和7年10月調査)
大人90%、小人(高校生以下)10%

○近隣施設の来場者数

養浩館庭園：約6.7万人、越前大野城：約6.1万人、丸岡城：約20万人

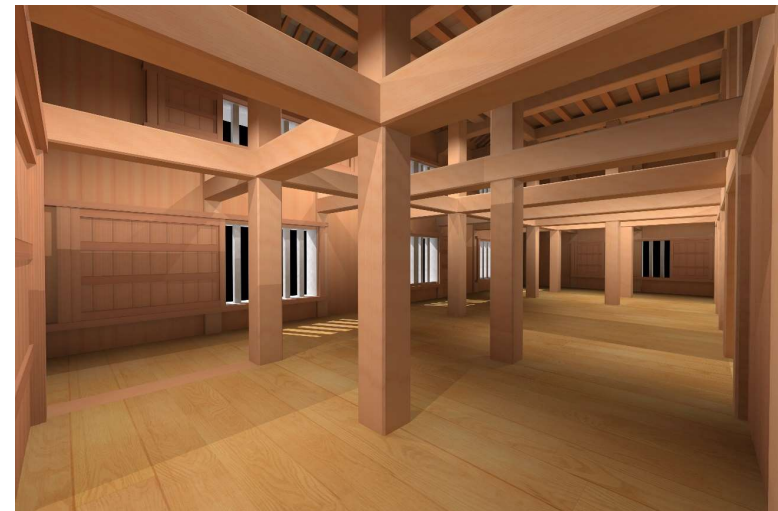
②管理体制（受付・スタッフ）の検討

検討中の櫓の展示内容や入場料の取扱いを踏まえ、入場者の利便性や室内景観等を総合的に判断し、室内管理体制を引き続き検討していく。（監視カメラは設置）

	受付カウンター設置、 スタッフ常駐	受付を屋外に設置、 スタッフ常駐(イス着席)	受付なし、 スタッフなし
他城事例	越前大野城、金沢城	丸岡城(受付(券売)は天守の外)	山里口御門(約5万人、1日約140人)
利用者の利便性・ 安心感	◎ 問合せや緊急時の対応が可能。 利用者の利便性・安心感が向上	○ 緊急時の対応が可能。 利用者の安心感が向上	× 利用者の利便性・安心感は低い。
展示品等の管理	○ 盗難や破損等のリスクは少ない	○ 盗難や破損等のリスクは少ない	× 盗難や破損等のリスクは高い
室内景観	△ 往時の景観を一部損なう	○ 往時の景観を損なわない	○ 往時の景観を損なわない
(入場料を徴収 する場合)	○ 受付カウンターで徴収可能	△ 県警前芝生広場等に徴収施設 や券売機が必要	△ 県警前芝生広場等に徴収施設 や券売機が必要
運営体制、管理費	× スタッフ2～3人の常駐が必要	× スタッフ2～3人の常駐が必要	○ スタッフの常駐不要



受付カウンターのイメージ(金沢城五十間長屋)



坤櫓の室内イメージ

(4) 復元に向けた情報発信、機運醸成の取組み

(1) 情報発信の強化、充実

- ・県HP、広報誌、SNS、動画配信サイト等で広く発信
(復元や募金の紹介、委員会資料の公表、工事状況等のお知らせ)
- ・建築工事の進捗状況写真をHPで随時公開(R8~予定)

(2) イベント、工事現場見学等の実施

・各種イベントの実施

事例：お堀の水抜きイベント実施。テレビ番組「緊急SOS!!池の水ぜんぶ抜く大作戦」とタイアップ
エキストラ80名を含む総勢150名で、約2,100匹の生物を捕獲。約330匹の特定外来生物(ブルーギル)を駆除。
約1,700匹を水の残るお堀にお引越し、お宝の発見も

- ・発掘調査や工事現場の見学会開催、越前若狭お城フェス等へのブース出展
- ・歴史ボランティアガイドへの説明会開催(観光客へのガイドに活かしてもらう)

福井城 復元イメージ

福井城坤櫓発掘調査等 現地説明会

① 坤櫓台や土堀跡の発掘調査現場の公開
② 仮設ヤード造成工事現場(お堀内)の公開

令和7年 11月9日(日) ※小雨決行、荒天中止
(午前の部) 10:00~11:30 (受付 9:40)
(午後の部) 13:00~14:30 (受付 12:40)

・場 所 福井城址(県庁前広場集合)
・定 員 先着120名
(午前60名、午後60名)
・予約等 要予約、参加費無料
・申込み 右の二次元コードから
お申込みください
※申込みは11月7日(金)まで
定員になり次第、申込みを締め切ります

申込みはこちら



現地説明会

「緊急SOS!!池の水ぜんぶ抜く大作戦」 とタイアップして、お堀の水を抜きました!

◆魚類等の引越し
・17種類、2,076匹の魚類・生物を捕獲し、水が残る場所に引越しました。
(特定外来生物のブルーギル336匹は駆除しました。)

◆お宝の発見
・往時の堀端に使われていたと考えられる物谷石瓦が大量に発見されました。
・陶器(とりまき)と呼ばれる亀瓦の上に載せることで長く突き出した瓦や結城家の家紋が入った瓦などのお宝は、復元する坤櫓で展示する予定です。

◆テレビ放送
9月14日(日) テレビ東京
10月12日(日) 福井テレビ
Tver(フイバー) 現在、配信中!

◆福井県では坤櫓(ひつじさるやぐら)や土堀の復元に向けて、令和7年7月からお堀の水を抜き、土砂で埋め立てる仮設ヤード造成工事を進めています。
・8月8日(金)に、テレビ東京の番組収録が行われ、お城好きで知られるお笑い芸人の田村淳さんやボランティアの皆さんと、水を抜いたお堀で魚類等のお引越しや物谷石瓦等のお宝探しを行いました。

参加者のみなさん
田村 淳さん、パンサー 尾形 貴弘さん、MAX NANAさん、池田 直志さん、加藤 美明さん、エキストラの皆さん 80名、番組スタッフ、県職員等 計150名

池の水イベントポスター

坤櫓等復元工事 工事状況のお知らせ 秋号

埋立て前 令和6年6月 お堀の埋立て1年前(福井市役所より撮影)

埋立て開始 令和7年7月1日着手。8月8日にはお魚引越し作業

埋立て中 令和7年9月19日撮影 お堀埋立て中です(農協会館より撮影)

緊急SOS!池の水ぜんぶ抜く大作戦とタイアップで実施!

新報はこちら

ぜひTVで観てください

工事お知らせ(秋号)

(5) 復元募金

【現在の取組み】

- ・交通まちづくり課内に募金箱設置。募金に対する返礼品を進呈。毎日受付
- ・越前若狭お城フェスや城址春まつり等のイベントでは、募金ブース設置
- ・ふるさと納税による寄附（随時受付）
- ・土堀の腰板や石垣補強工事の間詰石に使う笏谷石を広く県民から募集
（石材業者（県委託）が寄附者宅に出向いて石を引き取り。仮設ヤードにストック）

令和7年11月14日現在の寄附額 約744万円（約1,200名）

【今後の取組み】

- ・工事段階において、瓦・壁板記名募金等を実施予定（R8年～）
- ・伐採する桜の木を加工し、募金の返礼品として活用予定（R8年～）
- ・高額寄附者の方の芳名版（移動式）設置（名前を後世に残したいとの要望多数）



山里口御門復元整備募金
壁板記名会



山里口御門復元整備募金
桜のぐい呑み



（事例）名古屋城にある
芳名版（移動式）